

【問題】 次の文章を読んで、後の【設問】に答えなさい。

－ 文章略 －

\*問題文は、宇野重規『<私>時代のデモクラシー』（岩波新書、2010年）viii頁－28頁からの抜粋である。出題の都合上、原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある。

【設問】

- 問1 下線部①に「アレクシ・ド・トクヴィル（1805－59）の『平等化』の概念を参照することが、問題の本質理解に役立つ」とあるが、筆者がこのように考えるのはなぜか。600字以内で、あなたの言葉で説明しなさい。（解答は答案用紙（表）に記載すること。句読点も1字と数える。）
- 問2 下線部②に「新たな不平等意識」とあるが、筆者は、この不平等意識がどのような点で「新た」であると考えているか。600字以内で、あなたの言葉で説明しなさい。（解答は答案用紙（裏）に記載すること。句読点も1字と数える。）

以上